令和8年10月28日	令和8年度第2回熊本支部評議会	資料2－2

支部健康づくり戦略（案）について

「もしも」と「いつも」に安心を。

協会けんぽ

2．支部健康づくり戦略案の策定について

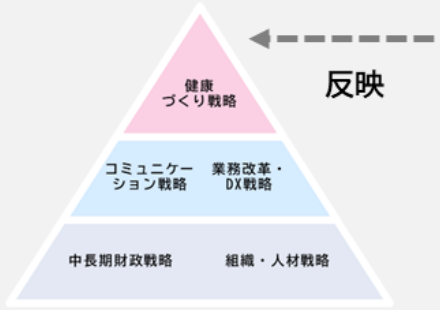
本部は中期戦略プランをまとめ、支部は支部戦略プランを策定します。

支部戦略プランは、中期戦略プランに地域特性を反映させた３年間の計画です。その内容は、**支部健康づくり戦略を基軸**とし、地域・職域の健康課題や都道府県健康増進計画等に基づく取組を反映させたものです。

ここからは、支部戦略プランの基軸となる支部健康づくり戦略（案）についてご説明します。

中期戦略プラン
2027(R9)年度～2029(R11)年度

協会の進むべき方向性を示す上位計画であり、2040（令和22）年を見通し、今後３年間で**重点的に実施する取組**をまとめた中期計画。



反映

協会
- 事業運営に関する４つの視点

国
- 健康日本21（第３次）
- 地域医療構想
- 第８次医療計画
- 第４期医療費適正化計画

単年度事業計画に反映

本部事業計画

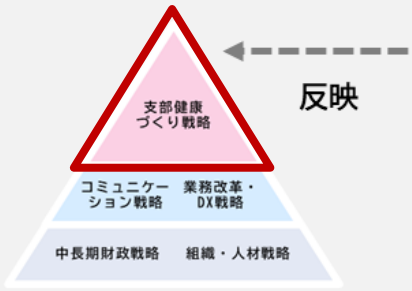
中期戦略プランの３年間の取組を**単年度（１年ごと）に具体化**した計画。協会の取組を網羅しており、**中期戦略プランの重点戦略に基づき重点的に実施する取組と定常的に実施する取組**で構成される。

地域特性の反映

地域特性の反映

支部戦略プラン
2027(R9)年度～2029(R11)年度

中期戦略プランを踏まえつつ、地域・職域の健康課題への取組や都道府県健康増進計画等に基づく取組等、**「地域特性」**を反映させた中期計画。



反映

支部
- 第３期データヘルス計画

都道府県
- 都道府県健康増進計画
- 都道府県地域医療構想
- 都道府県医療計画
- 都道府県医療費適正化計画

単年度事業計画に反映

支部事業計画

本部事業計画を踏まえつつ、地域・職域の健康課題への取組や都道府県健康増進計画等に基づく取組等、**「地域特性」**を反映させた単年度の計画。

協会けんぽ

１．熊本支部　課題シート

別添２

	課題
1	**【人工透析の原因であるCKD（慢性腎臓病）患者が多い】** ・第5次熊本県健康増進計画（健康増進計画）、第8次熊本県保健医療計画（医療計画）、第4期熊本県における医療費の見通しに関する計画（医療費適正化計画）等において、**熊本県の人口透析患者数が全国ワーストクラスであり、課題である**ことが盛り込まれている。 ・**熊本支部の第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）**には、**10年後の目標に「新規透析導入患者の割合の減少」を、6年後の目標に「CKDステージG4・G5該当者の割合の増加抑止」**を掲げている。 ・熊本支部の令和7年度生活習慣病予防健診受診者（喪失者除く35歳～74歳、以下同じ）187,995人の中には、CKDステージG4（腎機能高度低下）、G5（末期腎不全）該当者が計525人含まれており、**該当者割合は0.28%で、データヘルス計画の目標である「0.20%維持」から上振れしている。**（健診受診者リストより）。 ・一方、**G4・G5の手前で重症化を防ぐという観点**を含めると、対策を実施してきた結果、熊本支部の生活習慣病予防健診受診者における**CKD対象者（※1）の割合は、令和6年度4.3%（7,928人/184,041人）から令和7年度3.6%（6,705人/187,995人）へ減少している。**（健診受診者リストより） ・令和7年度の**CKD対象者のうち、高血圧、糖尿病、脂質異常症で服薬している者は60.2%、服薬していない者は39.8%**である。（健診受診者リストより） ・**CKD対象者の中には、治療が必要なのに服薬していない者や、服薬していても腎機能コントロールができていない者が混在しており、これらを適切に治療につなげる必要がある。** ※1：CKD重症度分類（2018）において、G1A1、G1A2、G2A1、G2A2、G3aA1以外に該当する者

協会けんぽ

１．熊本支部　課題シート

別添２

	課題
2	**【代謝（血糖）リスク保有者の割合が高い】** ・**第5次熊本県健康増進計画**では、「人口100万人対の新規人工透析患者数が全国最多で、その原因で最も多いのが糖尿病性腎症であることから、**糖尿病対策を本計画における最重要施策として取り組む**」と明記されている。 ・熊本支部の**代謝（血糖）リスク保有者（※2）の割合の全国順位は、少ない方から男性45位、女性42位**と非常に悪く、経年的にも順位が低迷している。（令和7年度支部別スコアリングレポートより） ・熊本支部の生活習慣病予防健診受診者における**代謝（血糖）リスク保有者の中で、糖尿病型（※3）の該当者割合は、令和6年度7.8%、令和7年度7.7%とほぼ横ばいで推移**している。（健診受診者リストより） ※2：空腹時血糖110mg/dl、または空腹時血糖未測定かつHbA1c6.0%以上、または服薬 ※3：空腹時血糖126mg/dlまたは、HbA1c6.5%以上

協会けんぽ

１．熊本支部　課題シート

別添２

	課題
３	**【骨折による入院医療費が高い】** ・**都道府県別一人当たり医療費において、熊本支部の全国順位は、低い方から令和4年度44位、令和5年度42位、令和6年度40位**と改善傾向であるものの、相対的に高い水準であることに変わりなく、一人当たり医療費の**全国平均との乖離率寄与度では、令和6年度診療種別で、入院＋0.139、外来＋0.009、歯科－0.039と、特に入院医療費において全国平均との乖離（上振れ）が大きい。** ・令和6年度入院医療費において、**疾病中分類別で全国平均との乖離率寄与度が最も大きいのは「骨折」**である。（情報系システムより） ・なお、近年の疫学研究から、**CKD（慢性腎臓病）では骨折頻度が高く、比較的早期の段階から骨折リスクが高まること、その大きな原因の一つがCKDで頻発する骨代謝異常である**ことが指摘されている。

協会けんぽ

２．熊本支部　健康づくり戦略（案）

熊本支部健康づくり戦略

Ⅰ）戦略目標

・**事業所による健康経営**と、協会けんぽの健診、特定保健指導、重症化予防等の取り組みを協働して推進（**コラボヘルス**）することにより、**被保険者一人ひとりのヘルスリテラシーを高め、被扶養者の健康への関心も促進**することで、全加入者が**主体的に生活習慣の改善に取り組む**環境づくりを目指します。

Ⅱ）戦略概要

・事業所への健康経営の普及、及び質の向上により、**事業所が主体となって、健診、特定保健指導、重症化予防等に取り組む**ことを促進します。

・併せて、**健診、特定保健指導**について、**実施機関等の体制を更に充実させることで、対象者にとっての魅力度や利便性**を高めます。

・**重症化予防**については、**健診結果等に基づき、対象者を適切に選定し、効率的かつ効果的に**行動変容や医療機関への受診等を促します。

・これらの実践においては、**データに基づくPDCAサイクル**を意識するとともに、**行政や関係団体等との連携**も図り、かつ加入者に対する**分かりやすい情報発信、広報**に努めます。

２．熊本支部　健康づくり戦略（案）

Ⅲ）３年間の主な取組

《健康の保持・増進》

［個人の特性に応じた支援］

・**医療や健診等のデータを活用**し、健康課題や医療のかかり方の課題について、**対象者を適切に選定し、効率的かつ効果的に**行動変容に向けた勧奨や必要な支援を実施します。

［健康経営の推進］

・健康宣言事業所に対して、**毎年、事業所カルテにより**、健診・保健指導・健康リスク保有等の状況を**分かりやすくフィードバック**します。

・健康宣言事業所に対して、**支部幹部職員や保健師等による訪問**を行い、事業主や管理職、担当者等へ効果的に働きかけることで、健康経営の取組を更に促進します。

・健康経営の取組支援として、**事業所への出前講座**等を実施します。特に、**メンタルヘルス対策においては、熊本県産業保健総合支援センターと連携**して対応します。

・健康経営の推進においては、**熊本県や各商工団体、並びに各業界団体等との連携**を図ります。

２．熊本支部　健康づくり戦略（案）

Ⅲ）３年間の主な取組

《健康の保持・増進》

［健診の拡充］

・**被保険者の健診**について、既存の生活習慣病予防健診実施機関における**受診枠の拡大**と、**新規の実施機関の拡大**を推進することで、**健診実施体制の更なる充実**を図ります。併せて、**人間ドック健診の実施機関の拡大**にも努めます。

・**被扶養者の健診**について、**令和9年度から開始する健診拡充**等を踏まえ、多様化する健診の受け方について、**対象者にとって分かりやすく、行動しやすい広報**に努めます。また、対象者にとっての**魅力度や利便性向上**のため、**市町村が行う、がん検診を同時実施できる集団健診**を推進します。協会けんぽが主催する集団健診については、**開催場所の魅力度や利便性を重視した選定**を行うことで受診者数増加を図ります。

・健診受診率向上に向けて、**各年度中において**、適宜、**未受診者を抽出**し、**対象者個人や対象事業所へのダイレクトメール**による受診勧奨を実施するとともに、**健診実施機関への業務委託による未受診者への受診勧奨**も実施します。

・**事業者健診結果の取得**について、**労働局等と連携**することで訴求力を高めるとともに、**外部委託事業者を積極的に活用**し、効率的かつ効果的に事業を実施します。

２．熊本支部　健康づくり戦略（案）

Ⅲ）３年間の主な取組

《健康の保持・増進》

［特定保健指導の量・質の向上］

・対象者及び事業所の利便性向上のため、**健診当日の初回面談ができる環境整備を引き続き強力に推進**します。

・**人間ドック健診では当日初回面談が必須**であることを踏まえ、**人間ドック健診の実施機関拡大**に努めます。

・**直営保健師等が手薄なエリアについて、外部専門機関を積極的に活用**することで、実施率向上を図ります。

・地域特性や業態、勤務体系等の事情から、**対面による面談が困難な事業所が存在することを踏まえ、ICT（遠隔面談）を活用**した特定保健指導の実施体制を引き続き整備します。

・直営保健師等と特定保健指導実施機関合同で、特定保健指導結果について、継続率やアウトカム達成率等を見える化し、**保健指導の質向上に向けた研修等を実施**します。

２．熊本支部　健康づくり戦略（案）

Ⅲ）３年間の主な取組

《健康の保持・増進》

［重症化予防の拡充］

・血圧・血糖・脂質・胸部エックス線検査の結果に基づく受診勧奨に加え、胃がん・大腸がん、乳がん、子宮頸がん検診の結果に基づく受診勧奨も実施します。

・健診結果に基づいた、**健診実施機関による受診勧奨を強化**します。

・人工透析の原因であるCKD（慢性腎臓病）患者が多いという熊本県の健康課題に対して、**CKDリスク保有者を抽出し、ダイレクトメールや電話等により、専門医への受診を勧奨**します。

［ヘルスリテラシーの向上］

・メールマガジンやLINE、けんぽアプリ等の電子媒体並びに各種紙媒体または広告等による広報及び各種研修会等を通じた情報発信に努めるとともに、健康経営の推進における事業所への出前講座や、**事業所とのあらゆる接点を通じて、事業主及び加入者のヘルスリテラシーの向上**に取り組みます。

２．熊本支部　健康づくり戦略（案）

Ⅲ）３年間の主な取組

《良質かつ効率的な医療の推進》

［医療提供体制の確保・充実に向けた取組］

・**熊本県地域医療構想**や**熊本県第8次保健医療計画**における熊本県民が地域で安全・安心に暮らし続けられるための持続可能な保健医療体制の構築と地域医療及び介護の総合確保にかかる議論に参画します。

・病床機能の分化及び連携の推進、在宅医療等の推進、医療従事者・介護従事者の確保・育成、医師偏在の是正等に向けた意見発信を行い、**地域において効果的・効率的な医療提供体制の実現に向け、保険者に期待される役割**を果たしていきます。

［医療費の適正化］

・**協会が保有する医療費・健診結果等を積極的に活用**し、加入者が質の高い医療を将来にわたり持続可能な形で受けることができるよう**医療費の適正化に資するデータ分析**を進めます。

・医療資源の適正使用の観点から、**上手な医療のかかり方**（適正受診・適正服薬・セルフメディケーションの推進等）について**加入者へ周知・啓発**を図り、**良質かつ適切な医療の効率的な提供に資する取組**を行います。

・バイオ後続品（バイオシミラー）については、データ分析に基づく医療機関への働きかけを通じて使用促進を図ります。

・地域フォーミュラリについても、医療機関や薬局における使用状況のデータ分析や各地域の取組状況に関する情報提供を行うなど地域の医療関係者と連携を図ります。